
俺の就職活動日記

シェング

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺の就職活動日記

【コード】

N6129P

【作者名】

シエング

【あらすじ】

俺の就職活動日記。就職が終わればすべてが終わる。就職はスタート地点。

俺のスペック！（前書き）

忘れてた。この日記（エッセイ？）は名前とか団体とかはフィクション！まったく関係ないよ！全部架空だよ！行動とかは全部ノンフィクション！

俺のスペック！

簡単な設定：俺 俺

大学3年生

好きなもの、アニメとか東方とか漫画とか。普通に寝たが許容できない人はバツクした方がいい。
カカツと下がるべきそうするべき。

ニコニコ動画とか普通に見る。アニメとか熱く語っちゃうそんな人
社会で言くと底辺クラスじゃね？とは思ってる。

年度末には就職終わらせたいなーという願望持ち。

メンタル激弱。1：1になると吐き気がする上に嗚咽がががが

ネトゲもやってたRO的な。面白いアニメがあつたら教えてほしい
くらい。

これを見てこういうやつも受かるんだなーというのが目的（建前）
交友や共有したいのが本音かもしれん。極度のさみしがり屋……か
もしれない？

身長170・体重58 顔：不細工ではないと思うが取り立ててか
っこよくもない。簡単に言くとNPC？

妄想もけっこうする。東方の二次小説とか普通に書いちゃう人。

割と楽天家で小心者。怒りとか持続不可能。無理ゲー。こんな感じ
の人物像で。

最終的には皆で笑いたい。いやマジで。

俺は俺だ（前書き）

とりあえず、俺という人間がいることで皆の下になりたい。こいつでも受かるんだ！って思えばそれは至高であると考える。

俺は俺だ

12月20日

いつも通りの日だった。二限目の学校の授業を30分遅刻で席に着く。

大して楽しくもなく出席も取らないので、この時間でも大丈夫だ。

20分で授業は終わり購買でおにぎりを買う。明太子とツナマヨだ。俺は明太子こそおにぎりの至高と知っている。これが美味しいというのがあったら遠慮なく言っしてほしい。試してみよう。

3限目はきちりと定時出勤。遅れるわけにはいかない。ニコニコを見て軽く休憩の後だから授業にあまり集中はしていないが。

14時から少し過ぎたあたりか、友達が遅れて到着。重そうなカバンをドスンと落とす。うるせえ。

何をとちくるったのかおにぎりを食い出す。授業中だぞ。俺はこの時やれやれと言ったアクションを取っていただろう。

授業が終わり、話しかける。うるせえと一言。次の言葉で俺は驚愕した。

「俺、就職終わったわww」

「バイト先か？」

違う……らしい。実習中に引き抜かれたとか何だとか。4人グループなのだが、もう1人も誘われたらしい。これで2人終わったということになる。

この時俺はどんな顔をしていただろう。心から喜べていない俺は心の器量が狭い。認めよう。

4限目は集中できなかった。俺も福祉の学校に通っているのだが、福祉の道に進むことはない。俺には人を助けるなんて考えられなくなっただからだ。

よくわからない。十六夜咲夜のコンボームービーが頭の中に流れる。ヤンデレの短編が浮かぶ。俺が一番病んでいる。

何かわからないまま終わってしまった。こんな出来事があったから、年度末には笑い話に、年度末に泣いていたら振りかえられるように。

俺はこの就職活動の日記を書くことにする。

全てのコメントには対応する。俺は俺のペースでやる。

愚痴のぶつけどころがなかったらここに書き込めば俺が受け止める。これを書き終えるのは俺が就職活動を終えた時だろう。

「下には下がいる」

このセリフを忘れないでほしい。自分は最低ではない。こう思ってほしい。

傷の舐め合いかもしれない。偽善？かもしれないし、相互扶助になるかもしれない。

これを書いている俺をキモイと思ってくれても構わない。所詮垂れ流しの日記のようなもの。

ただ、ここが捌け口になるのなら　　と　　思って、そして俺自身の克己とするために俺は書くことを決めた。

凜として咲く花の如くっていいよね！今聞きながら書いているのである。こんな調子で大丈夫か？

多分、大丈夫だ、問題ない。堅いこと書いたけど全く就職に関係ないことも書くのでそのところはなんだこいつw程度で流してもらって構わない。

さあ、来年は皆で笑おう。

俺は俺だ（後書き）

今のところは特になし。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6129p/>

俺の就職活動日記

2011年1月3日20時32分発行